

事務事業評価表（平成26年度）

事業コード	161	課コード	0302	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 □経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	市民と市民団体・企業とのマッチング機会の提供（健康寿命延伸プロジェクト）		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	市民生活部・市民活動支援課			
	③事業主体	●市 ○その他（ ）		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市							
	⑤事業期間	平成26年度～		⑥担当職員数	3人（換算人数）		0.75人					
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	12,859千円		当該（開始）年度	（当初）	8,495千円（うち人件費 6,975千円）		（変更後）	千円（うち人件費 千円）		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	41101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ（計画名）		
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民相互の交流を活発にして、市民がまちづくり活動に参加していけるよう、市民団体やまちづくり協議会、自治会、事業所、大学などのさまざまな組織や多世代が交流できる場や機会を充実するとともに、さまざまな活動や団体の情報を提供します。				事業目的	市民が現役世代に培った経験やスキルをまちづくり活かすことができるように、企業や市民団体とのマッチング機会を設け、市内産業の活性化を図るとともに市民活動への参画を促し市民の力をまちづくりにいかす。					
(3) 事業内容	内容	○健康寿命延伸プロジェクト提案事業「PPK推進事業（仮称）どきどきおじチャレンジ」企業や市民団体とのマッチングブースや起業・創業に関するセミナーなどを実施する。実施にあたっては、企業立地課（地域職業相談室を含む）や千葉県ジョブサポートセンター等と連携する。 【主な実施内容】 ○雇用情勢や起業・創業、まちづくり活動などをテーマとした講演会・シンポジウム。 ○市民活動への参画、企業への再就職、起業・創業など、地域での様々な働き方をテーマとしたセミナー ○市民が関わる市の事業に関する情報提供				当該年度執行計画	4月～5月 企画書の検討、関係機関等との調整 6月～7月 実施に向けた準備・PR 10月 市民と市民団体・企業とのマッチングイベントの開催					
		当該年度活動結果指標	担い手づくりのイベントへの参加者数		単位	人	想定値	50				
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該（開始）年度	まちづくり活動に参加する人の数を増やす				直接	イベントを通して活動を始めた人の人数		人	0	10		
3年後	まちづくり活動に参加する人の数を増やす				直接	イベントを通して活動を始めた人の人数		人	0	20		
最終（概ね5年後）	まちづくり活動に参加する人の数を増やす				直接	イベントを通して活動を始めた人の人数		人	0	30		
(7) 事業実施上の課題と対応	あびこ市民活動ステーションにおいてもまちづくりの担い手づくりを目的とした事業を展開している。このため、市民活動ステーション指定管理者と事業の実施、事業の内容などの調整を図り、平成27年度から民営化を検討していく。				代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容費用	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	実績値(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			消耗品費（情報誌紙代）	11	* 会場使用料（けやきプラザ）	20						
			嘱託職員人件費	672	* 講師報償費（講演会、シンポジウム）	80						
					* 消耗品費（PRチラシ、資料等）	40						
					嘱託職員人件費	1,380						
		予算（済）額	合計		683	合計		1,520	合計		0	
		(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
			県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
			起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
	一般財源		683		1,520		0		0			
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0			
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.25		0.75		0		0				
	正職員人件費	2,325		6,975		0		0				
	嘱託職員報酬額	672		1,380		0		0				
	臨時職員賃金額	0		0		0		0				
	事業費（予算（済）額+正職員人件費）	3,008		8,495		0		0				
(11) 単位費用（事業費/活動結果指標）	150.4千円/人		169.9千円/人									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	市民の力をまちづくりに地域の活力を高めるためには、団塊の世代を中心に、地域で優れた能力や経験、知識をいかしたまちづくり活動への参画に一層取り組んでいく必要がある。市では、効果的にまちづくり活動の参画を促すため、地域のさまざまな団体と直接出会う機会を設けることが必要となっている。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		市民活動団体等が参加し活動を紹介する。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 環境分野の市民団体も体験者を受け入れる団体となっている。						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (人)	目標値(b) (人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	0	10	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		実績値(f) (人)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	削減の内容		実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	8,495	△5,487	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	0.12	人	費用単位	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					